

第13回神奈川糖尿病療養指導士認定機構研修会

◇◇これできるわかり！高齢者糖尿病◇◇

日時 2019年 9月1日(日) 13:00～17:00 (受付開始12:00～)

会場 新都市ホール《そごう9階》 (定員:900名)

主催 神奈川糖尿病療養指導士認定機構

プログラム

特別講演

『サルコペニア、フレイルを考慮した高齢者の糖尿病治療』

演者:東京都健康長寿医療センター 副院長
内科総括部長 荒木 厚氏

レクチャー③

『サルコペニアチェックと運動療法の実際』

演者:大塚 洋 KLCDE運営副委員長

レクチャー①

『糖尿病と認知症～両者を考えたアプローチ～』

演者:湘南いなほクリニック院長 内門 大丈氏

レクチャー④

『糖尿病と低血糖』

演者:大津 成之 KLCDE運営委員

レクチャー②

『生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防と歯科の関係』

演者:武内歯科医院 院長 武内 博朗氏

レクチャー⑤

『糖尿病の高齢者への薬物療法の注意点』

演者:厚田 幸一郎 KLCDE運営委員

《 申込方法 》

参加費 事前振込 2,000円(当日支払い3,000円) ※資料代込み。お振込後の返金は出来ません。

★必ず事前にFAX等でお申し込み下さい。その後、下記口座へ、なるべく8/23(金)までに参加費をお振込みください。またその際、通信欄に「参加者氏名」と「第13回KLCDE研修会参加費」とお書き下さい。資料は当日配布です。 ※開催日間近でご入金された場合は、研修会当日に「振り込み控え」を必ずご持参下さい。

振込先 郵便局口座名:神奈川糖尿病療養指導士認定機構

口座番号: 00250-0-64697

～研修会にお申し込みをされた方へ～

※お申し込みが受け付けられた旨の連絡はしていません。(別段連絡が無い限り受け付けられています)

※会場は座席により空調がききすぎることがございます。必要な方は上着、ひざかけ等をご用意ください。

《問合せ》

担当: 大波 大井まで

電話 045-313-2111

第13回KLCDE研修会 参加申込書 《FAX 045-313-2113》

代表者に○	フリガナ	参加者氏名	職種

代表者連絡先ご住所
どちらかに○のチェック
(自宅 又は 施設) 〒

ご連絡先TEL

ご連絡先FAX

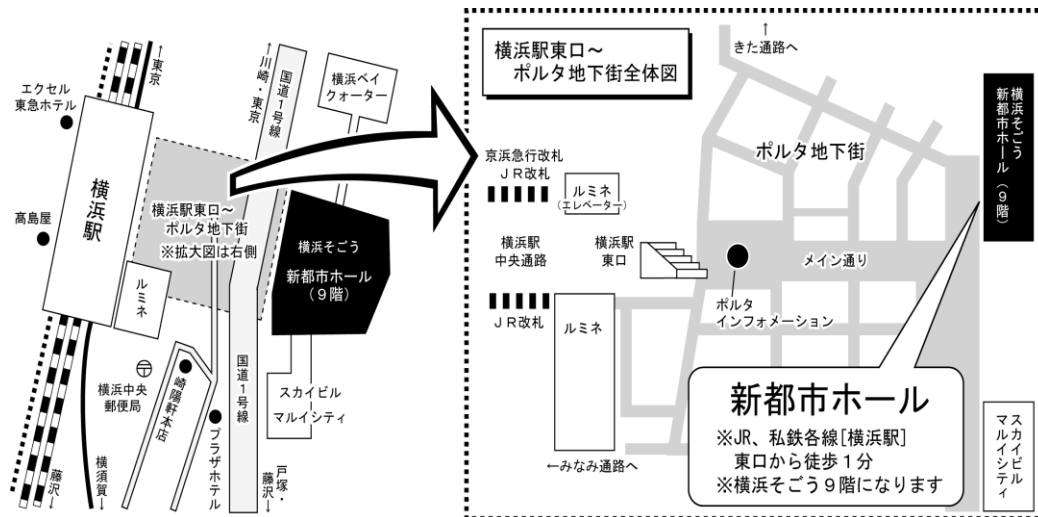
施設名

(自宅 又は 施設) ()

(自宅 又は 施設) ()

■複数お申し込みの場合は、全員のお名前・フリガナ・ご職業をご記入下さい。★お申込み後、参加費をお振込み下さい。

【新都市ホール会場図】



取得単位

神奈川県糖尿病療養指導士認定のための研修会(5単位) / 日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会・登録歯科医のための講習会 / 日本糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会(第2群1単位)、栄養士、臨床検査技師については第1群申請中 / 日医生涯教育認定講座申請予定

プログラム<レクチャー・特別講演要旨>

特別講演

『サルコペニア、フレイルを考慮した

高齢者の糖尿病治療』

糖尿病患者はサルコペニア・フレイルをきたしやすく、その要因にはインスリン作用不足、高血糖、身体活動低下、低栄養などがある。サルコペニア・フレイルの進行予防のためにはレジスタンス運動やタンパク質の十分な摂取が必要である。薬物療法では重症低血糖、転倒・骨折などに注意する。

③『サルコペニアチェックと運動療法の実際』

医療施設で行うサルコペニアチェックの項目として歩行速度と握力、筋肉量測定(BIA)、片足立ち、下腿測定などを実施します。実施した項目に基づいて効果的な動作運動などを実技も合わせてご紹介致します。

①『糖尿病と認知症～両者を考えたアプローチ～』

超高齢社会の中で、認知症と糖尿病は重要な健康課題であり、相互に病状を悪化させる可能性がある。認知症を理解することは、糖尿病治療をする上で重要である。今回は、糖尿病を伴う認知症患者へのアプローチについて解説する。

④『糖尿病と低血糖』

高齢者糖尿病の指針は重症低血糖を危惧すべき薬剤使用時のHbA1c目標を緩和するよう推奨した。一方糖尿病の治療において依然低血糖は避けられない。改めてこの低血糖につき基礎から解説したいと思う。

②『生活習慣病(NCDs)の発症予防・

重症化予防と歯科の関係』

歯科とNCDs(Non-communicable diseases=生活習慣病)の関係は、(1)歯周炎(慢性持続性炎症と歯原性菌血症)の制御による血管・代謝の改善(2)咀嚼機能回復による代謝・体組成の改善の2つです。これらについて簡潔にご紹介します。

⑤『糖尿病の高齢者への薬物療法の注意点』

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標では、重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤、SU薬、グリニド薬)の使用がある場合の血糖コントロール目標は、重症低血糖回避を優先し下限値が設定されている。重症低血糖発症の現状と対策について述べる。